



こ う ち が わ  
**河内川ダム**



あらかじめ、  
幸せだったらいいな。

**幸せ度  
いちばん  
福井県**



## 北川流域および河内川の概要



北川は、その源を滋賀県と福井県との境をなす野坂山地の三十三間山付近に発し、三重嶽、武奈ヶ嶽にさえぎられた滋賀県高島市の山間部を南流し、県境付近において左支川の寒風川を合わせ、流路を北西に転じ、若狭町にて右支川鳥羽川を、さらに小浜市にて右支川野木川と左支川遠敷川を合わせ、日本海に注ぐ幹川流路延長 30.3km、流域面積 210.2km<sup>2</sup> の一級河川です。

河内川は福井県三方上中郡若狭町に位置し、その源を福井・滋賀県境の駒ヶ岳に発し、若狭町熊川地先にて北川本川に合流する流域面積 16.3km<sup>2</sup>、流路延長 6.4km の一級河川です。



## 水害・干ばつ等の歴史

北川水系ではこれまで昭和 28 年、昭和 34 年、昭和 40 年、昭和 47 年、昭和 57 年、平成 16 年にみられるように幾多の水害に見舞われてきました。特に昭和 28 年 9 月には、台風 13 号により死者・行方不明 53 名、全壊流出を含む建物被害が約 1,950 戸という甚大な被害をもたらしました。最近では平成 25 年の台風 18 号により浸水被害が発生するなど、治水対策は十分な治水安全度

を有しているとはいえません状況にあります。

一方、昭和 53 年、平成 2 年、平成 6 年に、干ばつにより大きな被害を受けています。特に、平成 6 年の夏季には、若狭地方において異常渇水が発生し長時間にわたり上水道の断水による取水制限が行われるなど、多大な被害が生じました。

### 洪水被害

▼平成 25 年 9 月 台風 18 号



小浜市羽賀

### 嶺南に記録的大雨



福井新聞(平成 25 年 9 月 17 日)

### 渇水被害

▼平成 6 年 7 月～8 月 渇水



北川本川／若狭町天徳寺付近

## 事業の経緯

北川の本格的な治水事業は、大正 15 年から始まります。その後、昭和 28 年の災害等を踏まえ各種河川改修工事が行われてきました。

昭和 40 年、昭和 47 年、昭和 57 年の台風等の大きな水害を契機に、北川水系における洪水調節施設の計画が検討され、昭和 62 年に河内川ダムの建設事業が採択されました。

年月	主な経緯
昭和 58 年 (1983)	実施計画調査事業採択
昭和 62 年 (1987)	建設事業採択
平成 5 年 (1993) 11 月	補償基準の妥結調印
平成 6 年 (1994) 2 月	全体計画認可
平成 7 年 (1995) 6 月	離村式
平成 8 年 (1996) 4 月	若王子区開村式 (21 戸移転)
平成 10 年 (1998) 3 月	河内区開村式 (5 戸移転)
平成 24 年 (2012) 12 月	ダム本体工事着工
平成 27 年 (2015) 11 月	ダム本体定礎式
平成 29 年 (2017) 12 月	打設完了式
令和元年 (2019) 6 月	ダム竣工

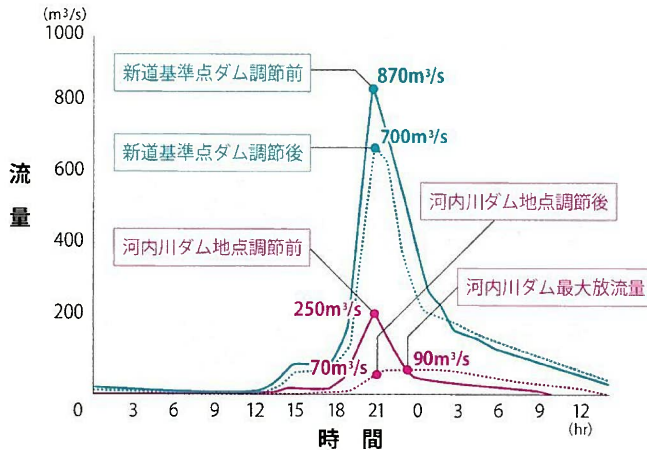
# 河内川ダム役割

## 1 洪水調節

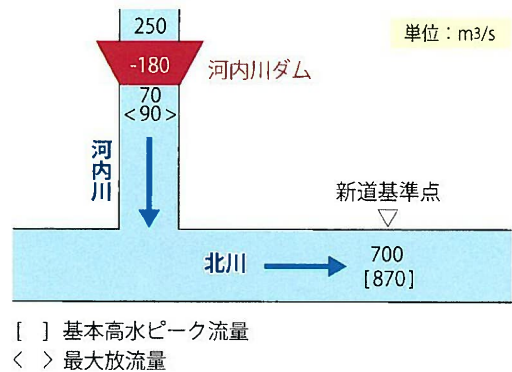
雨がまとまって降ると、たくさんの水が川に流れ込み、洪水が起きやすくなります。一旦ダムに水をためることによって、川に流れる水の量を減らして、洪水による被害を減らすことができます。

河内川ダムでは、ダム地点における計画高水流量  $250\text{m}^3/\text{s}$  のうち、 $180\text{m}^3/\text{s}$  の洪水を調節し、放流量を  $70\text{m}^3/\text{s}$  とすることで下流域の水害を防ぎます。

### ▼ 洪水調節図



### ▼ 計画高水流量配分図



## 2 河川環境の維持

北川沿川では、渇水によりしばしば水不足になっています。このような状況を改善するために、下流の既得用水の補給や河川環境の保全に必要な水量を確保します。

## 3 用水

ダムに貯めた水をいつも安心して使えるようにします。河内川ダムの水は、特定かんがい用水、水道用水、工業用水として利用されます。

### 特定かんがい用水 (農業用水)

水を川などから引いてきて農地を潤すのが特定かんがい用水です。鳥羽川流域の水田に対して最大  $0.36\text{m}^3/\text{s}$ 、年間総取水量  $1,770,000\text{m}^3$  のかんがい用水を確保します。

### 水道用水

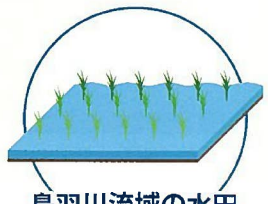
生活の中で飲み水として利用するのが水道用水です。若狭町へ  $2,592\text{m}^3/\text{日}$  ( $0.03\text{m}^3/\text{s}$ )、小浜市へ  $12,960\text{m}^3/\text{日}$  ( $0.15\text{m}^3/\text{s}$ ) の水道用水を確保します。

### 工業用水

洗浄や冷却など、工業に使用されるのが工業用水です。若狭町(若狭中核工業団地)へ  $1,728\text{m}^3/\text{日}$  ( $0.02\text{m}^3/\text{s}$ ) の工業用水を確保します。



鳥羽川流域の水田



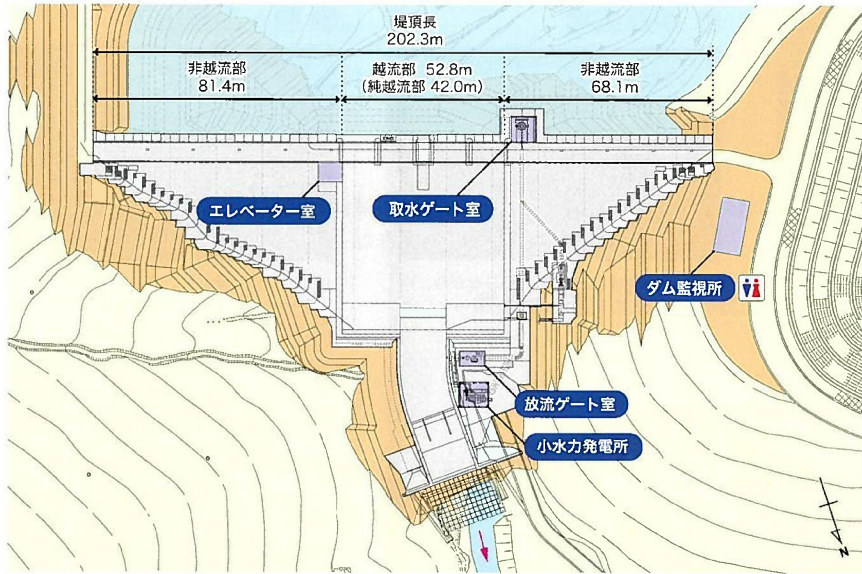
若狭町・小浜市の水道水



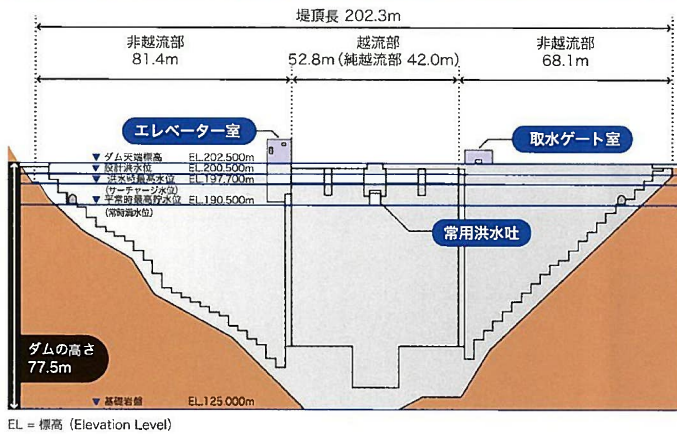
若狭町の工業用水  
(若狭中核工業団地)



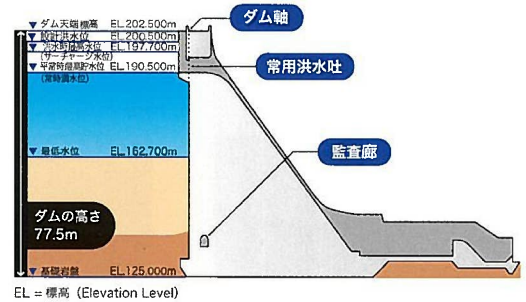
## ダム平面図



## 下流面図



## 標準断面図



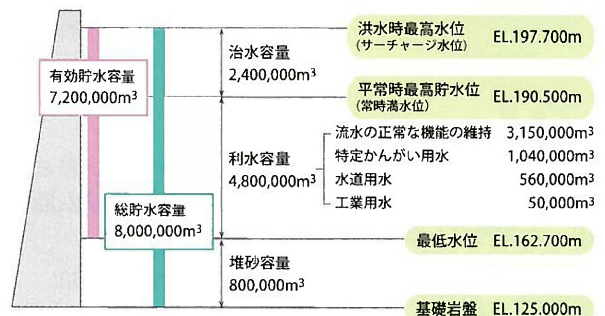
## ダムおよび貯水池諸元

ダム	河川名	北川水系 河内川
	位置	福井県三方上中郡若狭町熊川
	型式	重力式コンクリートダム
	堤高	77.5m
	堤頂長	202.3m
	堤体積	258,000m <sup>3</sup>
	ダム天端標高	EL.202.500m

貯水池	集水面積	14.5km <sup>2</sup>
	湛水面積	0.37km <sup>2</sup>
	総貯水容量	8,000,000m <sup>3</sup>
	有効貯水容量	7,200,000m <sup>3</sup>
	洪水時最高水位	EL.197.700m
	平常時最高貯水位	EL.190.500m
	最低水位	EL.162.700m

放流設備	常用洪水吐き	オリフィスによる自然調節 高 3.6m × 幅 3.8m × 1 門
	非常用洪水吐き	クレスト自由越流 高 2.8m × 幅 10.5m × 4 門
	計画高水流量	250m <sup>3</sup> /s
	最大放流量	90m <sup>3</sup> /s
	取水設備	側壁付き円形多段式ゲート
	利水放流設備	口径φ450 × 1 条
	水位低下放流設備	口径φ700 × 1 条

## 貯水池容量配分図





## 施設概要



### 1 エレベーター室



ダムの頂部（最上部）と最深部を結んでいます。（高低差は約 67m）

### 2 常用洪水吐



常用洪水吐で洪水を調節します。常用洪水吐の放流量を上回る大きな洪水は、非常用洪水吐から放流します。

### 3 取水ゲート室



ダムの水位にあわせて取水口の高さを操作します。

### 4 小水力発電所



ダムの放流水を利用して発電を行います。

### 5 放流ゲート室



取水設備で取水された水は、ここで水量を調節して下流に放流します。

### 6 ダム監視所



ダムを監視するための設備が設置されています。屋上からはダムを見学することができます。



# ダム周辺マップ

## 1 熊川宿 重要伝統的建造物群保存地区 日本遺産「〜御食園若狭と鯖街道〜」



熊川宿は、若狭から京都を結ぶ重要な宿場で、特に近世以来発展を続けました。奉行所・番所・御蔵屋敷の跡が残り、昔ながらの用水路が流れています。

## 2 溪流広場



白石神社跡地周辺の自然を感じながら、川遊びを中心に楽しめる場所となっています。

## 3 駒ヶ岳登山道



ピクニック広場より、ブナの広がる山の中を抜けていきます。山頂からは、琵琶湖や遠く伊吹山を望むことができます。



## 4 お花見広場



周囲に咲くヤマザクラやイチヨウの景色を楽しめます。

## 5 ピクニック広場



河内川沿いのなだらかな丘に、のどかで心地よい空間が広がります。かつての河内集落があった場所で、駒ヶ岳への登山口となっています。

### ■広域位置図



- アクセス
- 小浜から車で約 30 分
  - 福井から車で約 1 時間 30 分
  - 大阪から車で約 2 時間 30 分



下流見学広場から見た河内川ダム



左岸展望台から見た河内川ダム

### ■お問い合わせ

福井県嶺南振興局 小浜土木事務所  
河内川・大津呂ダム統合管理事務所  
〒917-0241  
福井県小浜市遠敷1丁目101番地  
TEL (0770) 56-0970

河内川ダム監視所  
〒919-1532  
福井県三方上中郡若狭町熊川71-4-1  
TEL (0770) 62-2081



河内川ダム  
ホームページ

